

時間割コード	G2B60520		開講年度	2026			
授業題目	ソフトボール					担当教員	古屋 顕一
英文授業名	SOFTBALL						
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・3時限	対象学生	全
講義室	野球場			授業形態	実技	遠隔授業科目	
						備考	※雨天時は第1体育館にて行う
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	大学D P						
	持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力					⇔	自己や他者を客観的に認識することができるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働、健康長寿						
(3)全学横断特別教育プログラム	ローカル・イノベーター養成コース						
(4)授業の概要	本授業は、ソフトボールをとおして、自己と他者を客観的に認識し、問題発見・問題解決能力を養うことを目的としています。具体的には、ソフトボールの実践をとおして、他者の動きを観察することにより、自己の動きをより客観的に認識し、将来的に「自分のことは、自分で解決することができる」ようになり、生涯スポーツへと繋げていくことを目的としています。						
(5)授業のキーワード	●ソフトボール ●客観的認識能力 ●問題発見・問題解決能力						
(6)授業計画	本授業は、下記の予定で進めていきます。 ①ガイダンス（授業内容の説明・授業のルールなど） ②練習試合1（今後の課題発見・チーム編成資料作成） ③課題1：スローイングの基本・キャッチングの基本・ピッチングの基本 ④課題2：バッティングの基本とバッティング練習・バントの練習 ⑤練習試合2（今後の課題発見） ⑥課題3：走塁の基本について・サイン決めについて ⑦練習試合3 ⑧チーム練習（チームで課題を決めて練習） ⑨練習試合4 ⑩チーム練習と練習試合 ⑪リーグ戦1 ⑫リーグ戦2 ⑬リーグ戦3 ⑭リーグ戦4 ⑮まとめと授業アンケートの実施						
(7)成績評価の方法	・ソフトボールに必要な基礎的知識、技術、ルール・マナー、またその考え方における理解度・習熟度 70％ ・コミュニケーション能力・チームワーク力・リーダーシップ力・フォロアシップ力を発揮することができたか 30％						
(8)成績評価の基準	秀：ソフトボールにおける知識、技術・リーダーシップ力に長けている 優：ソフトボールにおける知識、技術・フォロアシップ力に長けている 良：ソフトボールにおける知識、技術が水準よりやや上にある 可：ソフトボールにおける知識、技術が水準にある 不可（D）：ソフトボールにおける知識、技術が水準よりやや下にある 不可（F）：ソフトボールにおける知識、技術が水準にない						
(9)事前事後学習の内容	フィールドワークの内容について学生自ら事前学習をしなければならない。 ソフトボールができる「動ける体作り・筋力強化」を各自、事前・事後学習で図らなければならない。 ※この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って、15時間以上の時間外学習が必要となります。						
(10)履修上の注意	①受講希望者はコンピューターによる抽選に応募すること。 ②チームを作り授業を進めていくため、無断欠席はチームのメンバーに迷惑をかけることになります。やむを得ない事情以外では欠席しないこと。 ③担当教員自己紹介 こんにちは、特任教員の古屋です。野外教育を専門としています。 具体的には、キャンプ、登山、山菜取り、きのこ採り、釣、 kayak、ヨット、ボードセーリング、スノーボード、スキー、サイクリング、パラグライダー、ゲレンデスキー、クロスカントリースキー、テニスマスキー、スノーボードなど、ありとあらゆるアウトドア活動をたしなみます。ひげを生やし見た目はゴツツイですが、決して怖くはありません。						
(11)質問、相談への対応	原則として木曜日の昼休みをオフィスアワーとします。対応できるときは他の時間帯でも可。事前にメールにて確認してください。						

(11)質問,相談への対応	メールアドレス：fken@shinshu-u.ac.jp
(12)授業への出席	全ての回に出席することを基本としますが、出席の基準は3分の2以上です。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	病気などのやむを得ない理由での欠席については、要相談。課題を出します。
【教科書】	特になし
【参考書】	必要に応じて提示します。